

病院の勤務環境に関するアンケート 調査結果報告書【速報版】

平成 28 年 3 月

大阪府医療勤務環境改善支援センター

1. 実施概要

(1) 名称

病院の勤務環境に関するアンケート

(2) 実施期間

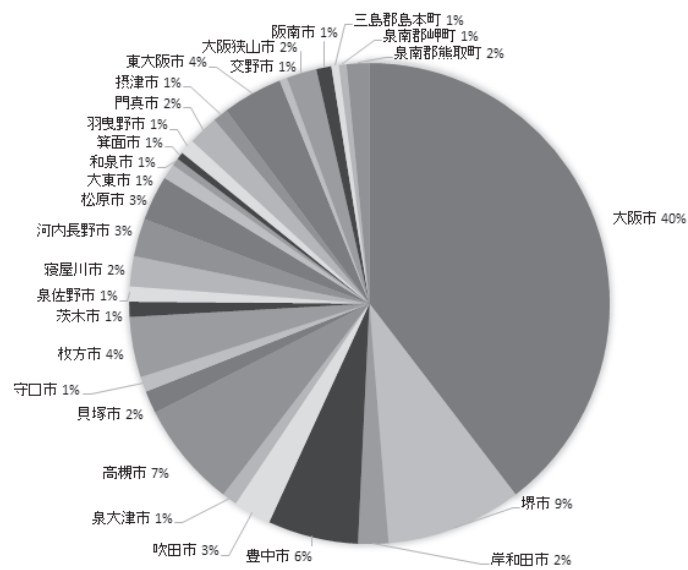
平成 28 年 1 月 8 日～平成 28 年 2 月 5 日

(3) 対象

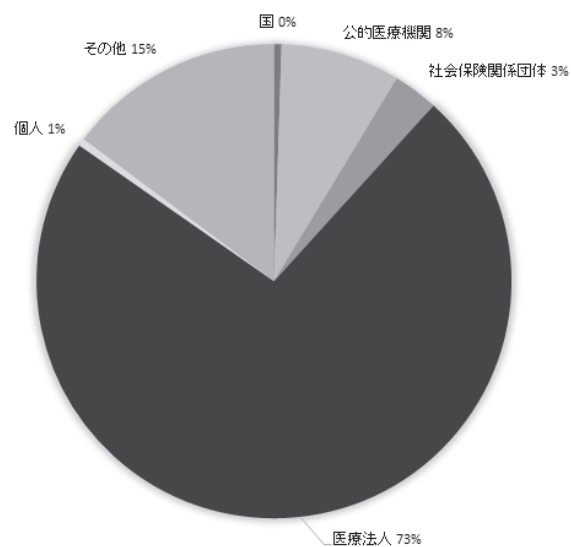
大阪府内 医療施設

2. 実施結果

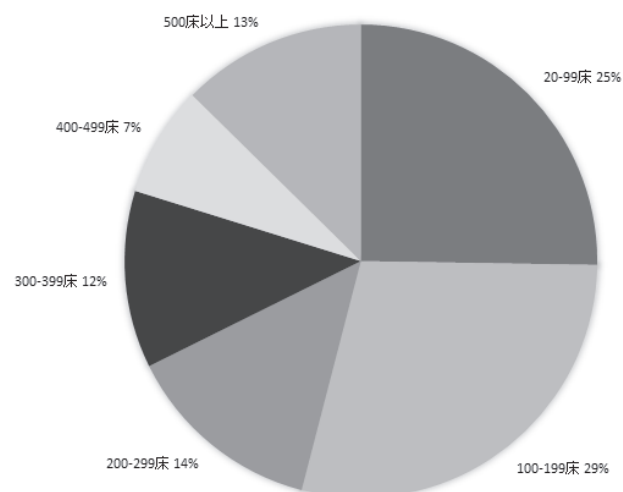
問1. 貴医療機関の所在地



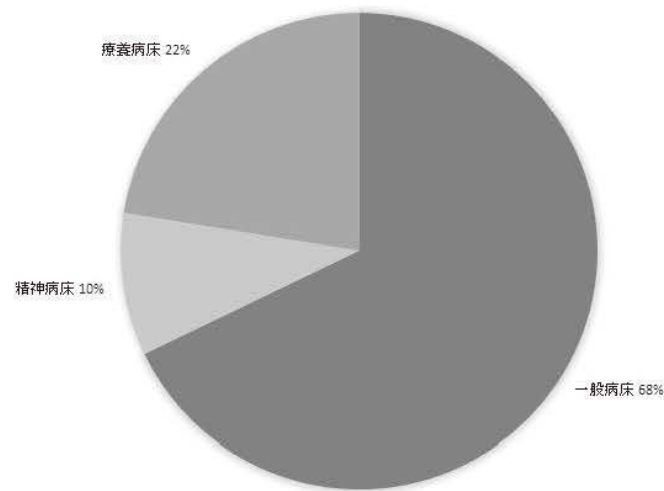
問2. 開設主体



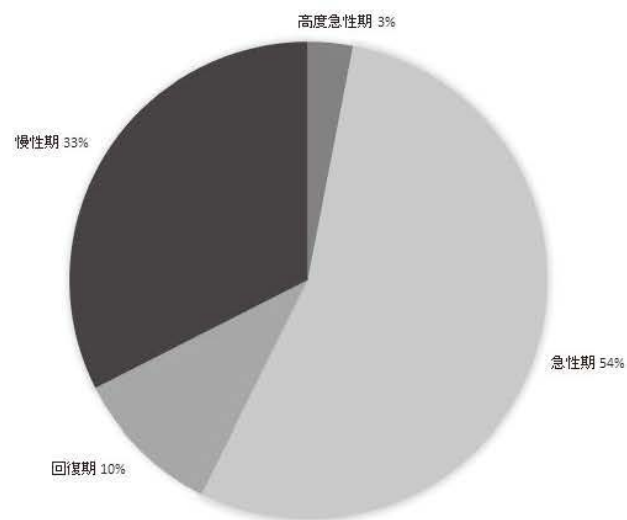
問3. 許可病床数



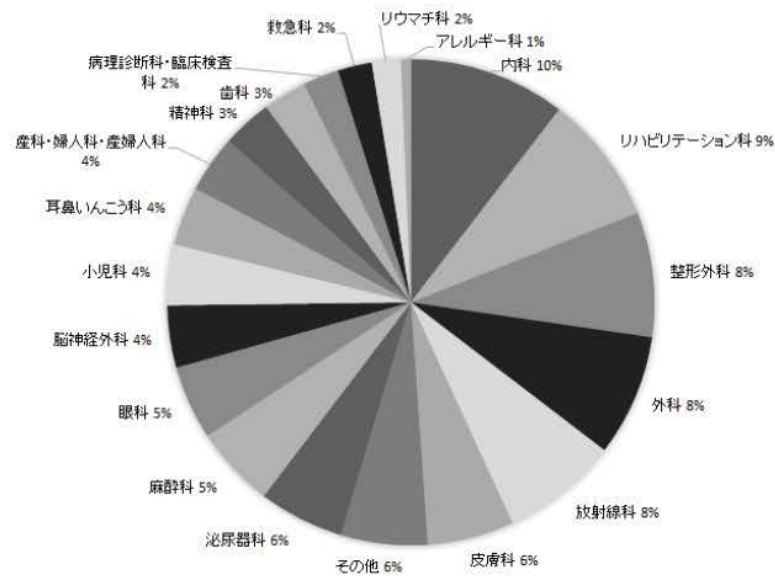
問3-1. 最も多い病床



問3-2. 最も多い病床有する医療機能

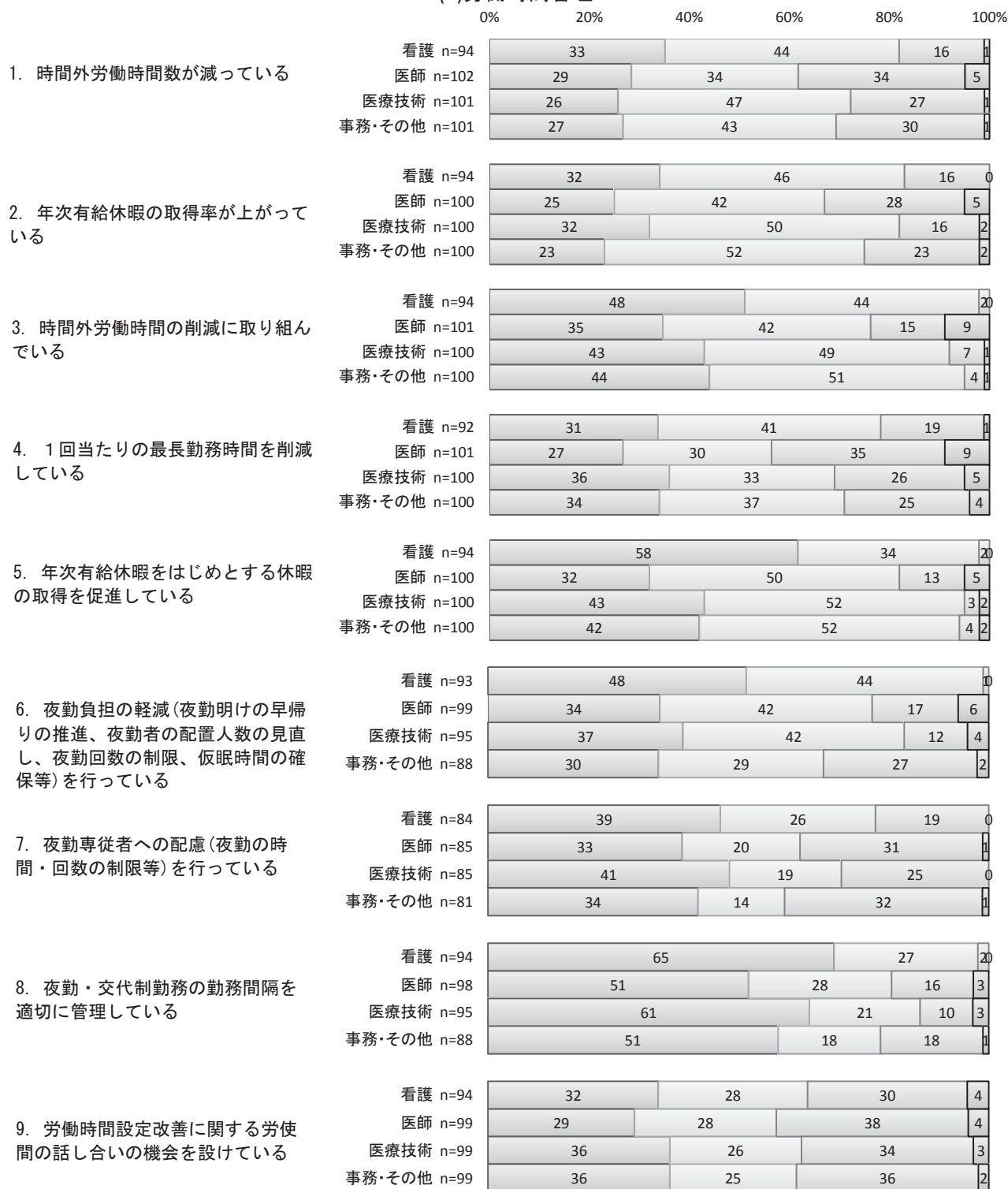


問4. 標榜している診療科目



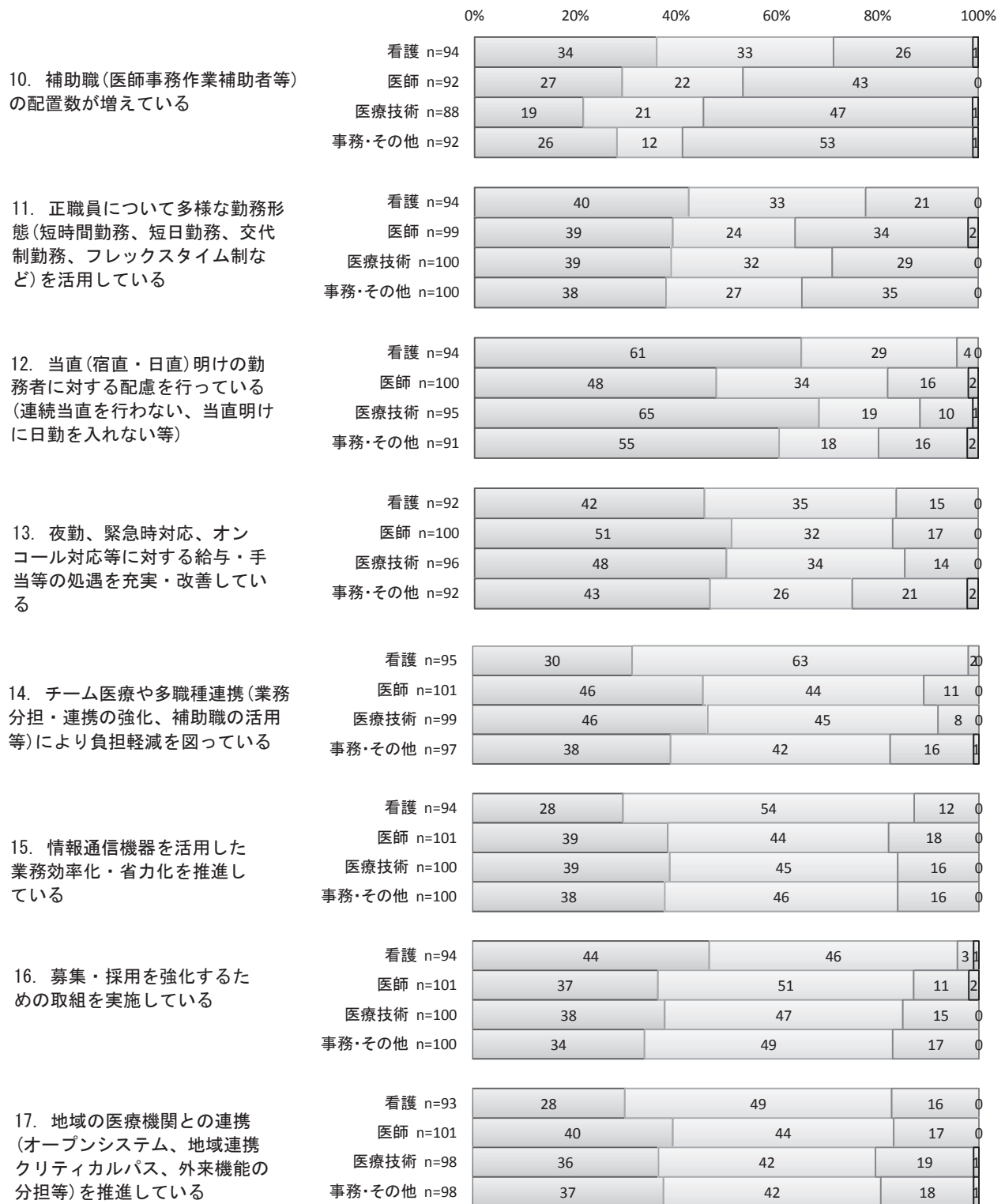
I.働き方・休み方改善

(1)労働時間管理



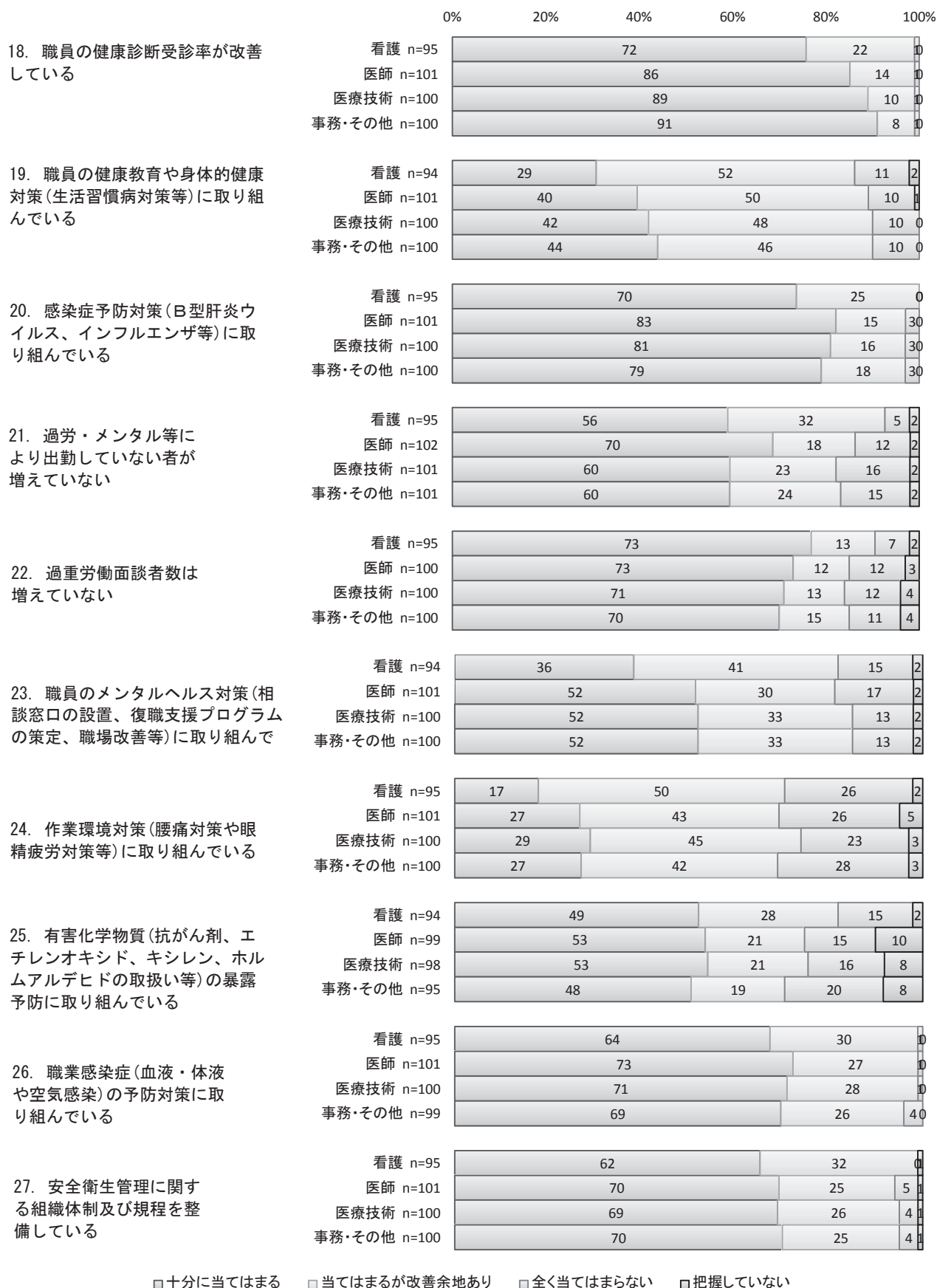
・「時間外労働時間の削減」において、看護は「十分に当てはまる」「当てはまるが改善余地あり」の割合が高いが、医師は低い傾向が伺える。
 ・看護においても、「労働時間設定改善に関する労使間の話し合い」を実施している病院割合は低いことが伺える。

I.働き方・休み方改善
(2)勤務負担軽減



・看護では、高い割合で「チーム医療や多職種連携(業務分担・連携の強化、補助職の活用等)」により負担軽減に取り組んでいる。

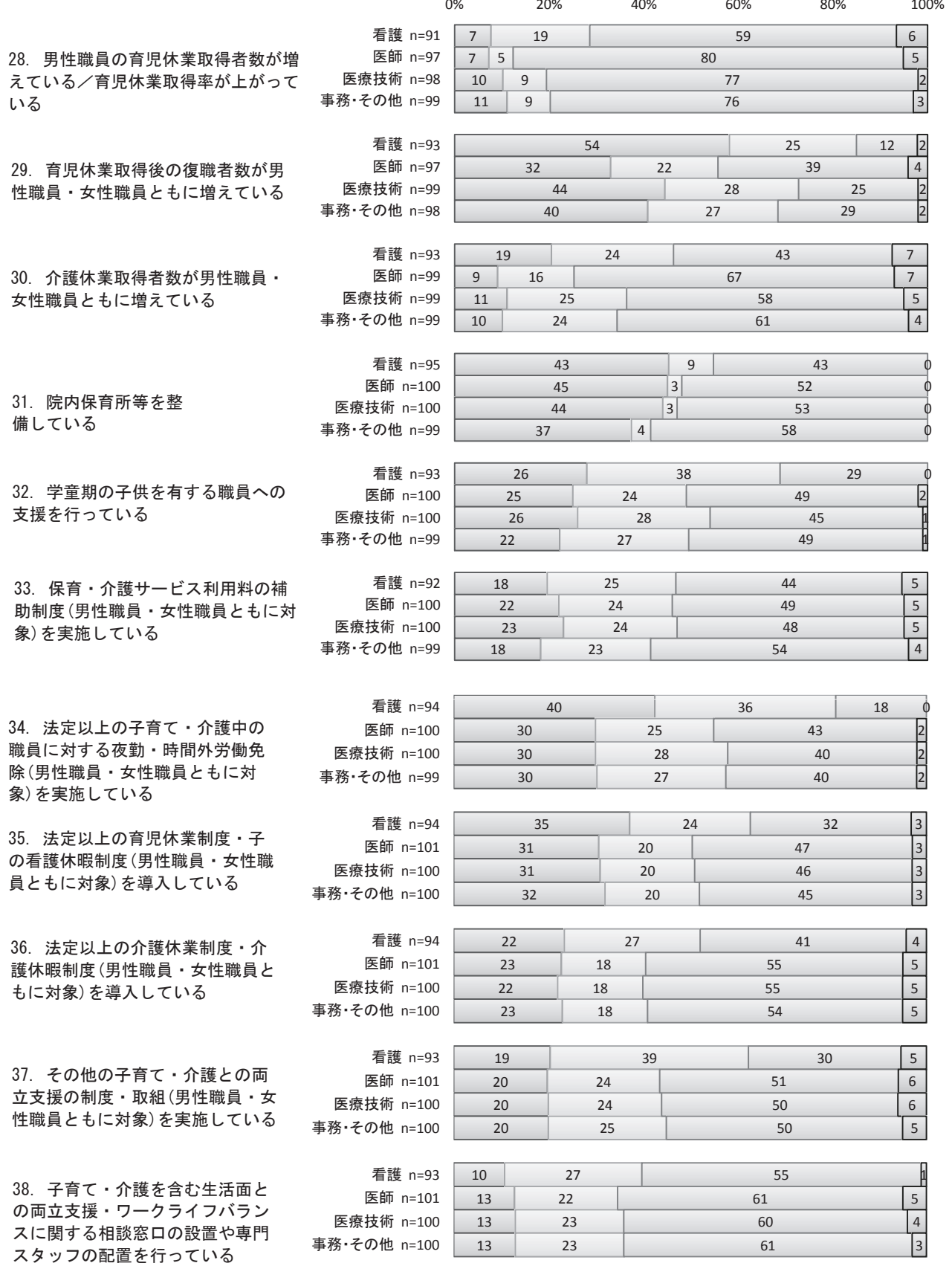
Ⅱ．職員の健康支援



・「職員の健康教育や身体的健康対策(生活習慣病対策等)」は、看護の取組割合が最も高く、次いで医師が高い割合となっている。

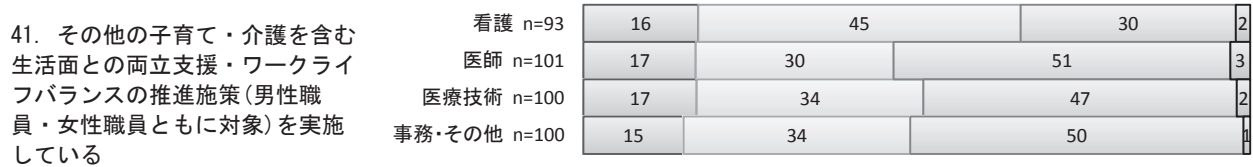
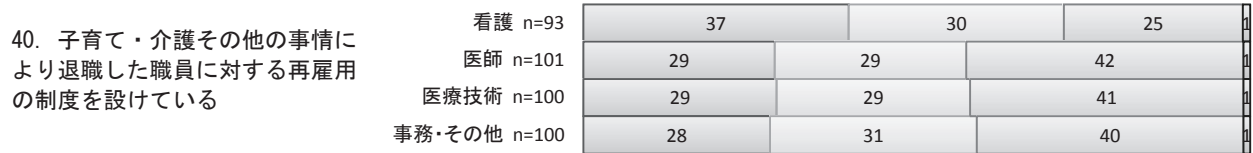
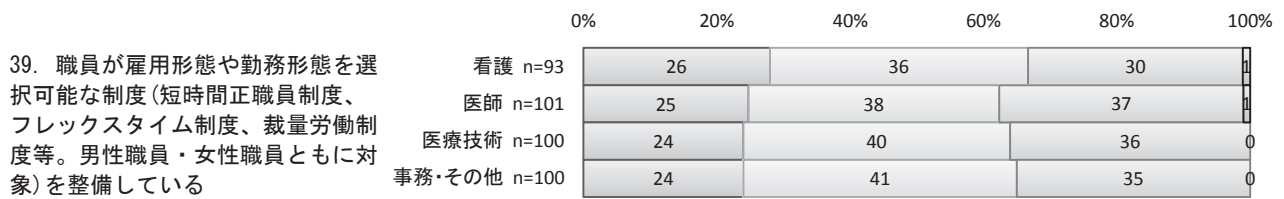
Ⅲ.働きやすさ確保のための環境整備

(1)仕事と子育て・介護等の両立支援

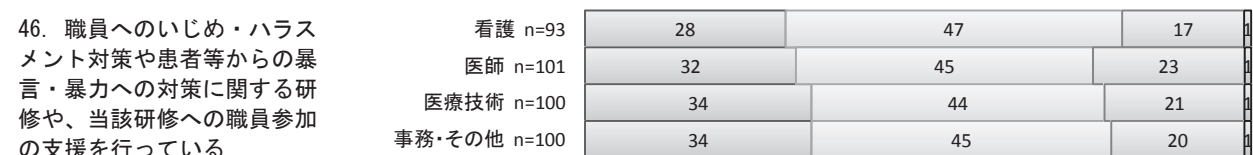
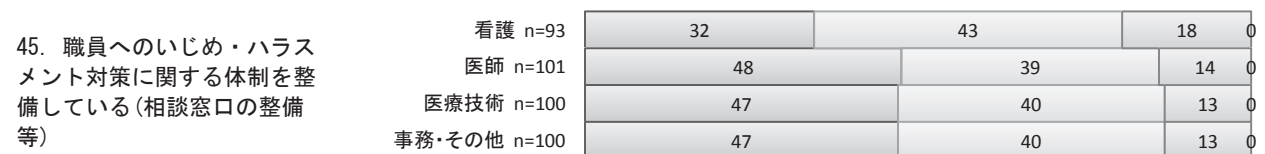
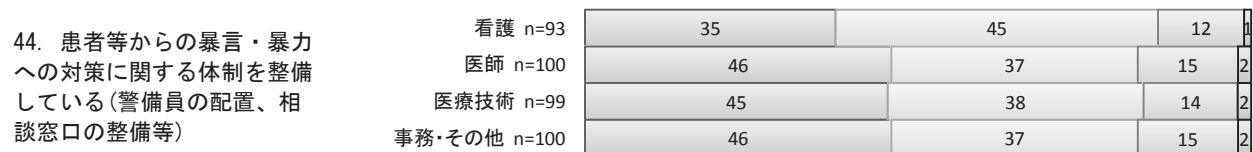
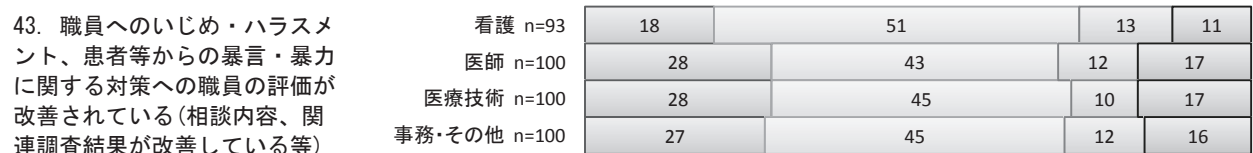
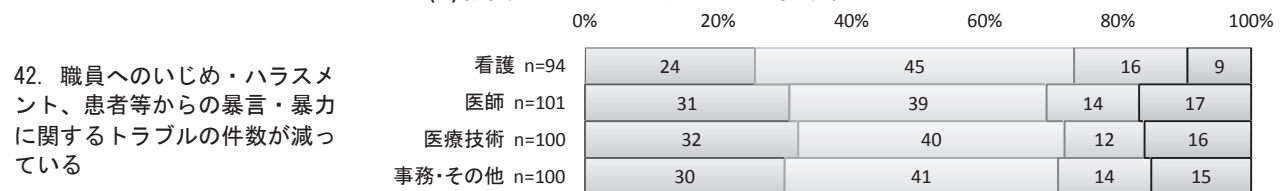


☐十分に当てはまる ☐当てはまるが改善余地あり ☐全く当てはまらない ☐把握していない

- ・「男性職員の育児休業取得」は、全職種において取組が進んでいないことが伺える。
- ・全職種において、「子育て・介護支援の取り組み」が進んでいないことが伺える。
- ・「介護休業取得」は、男女職員共に全職種において取組が進んでいないことが伺える。



Ⅲ.働きやすさ確保のための環境整備 (2)職員のいじめ・ハラスメント等対策

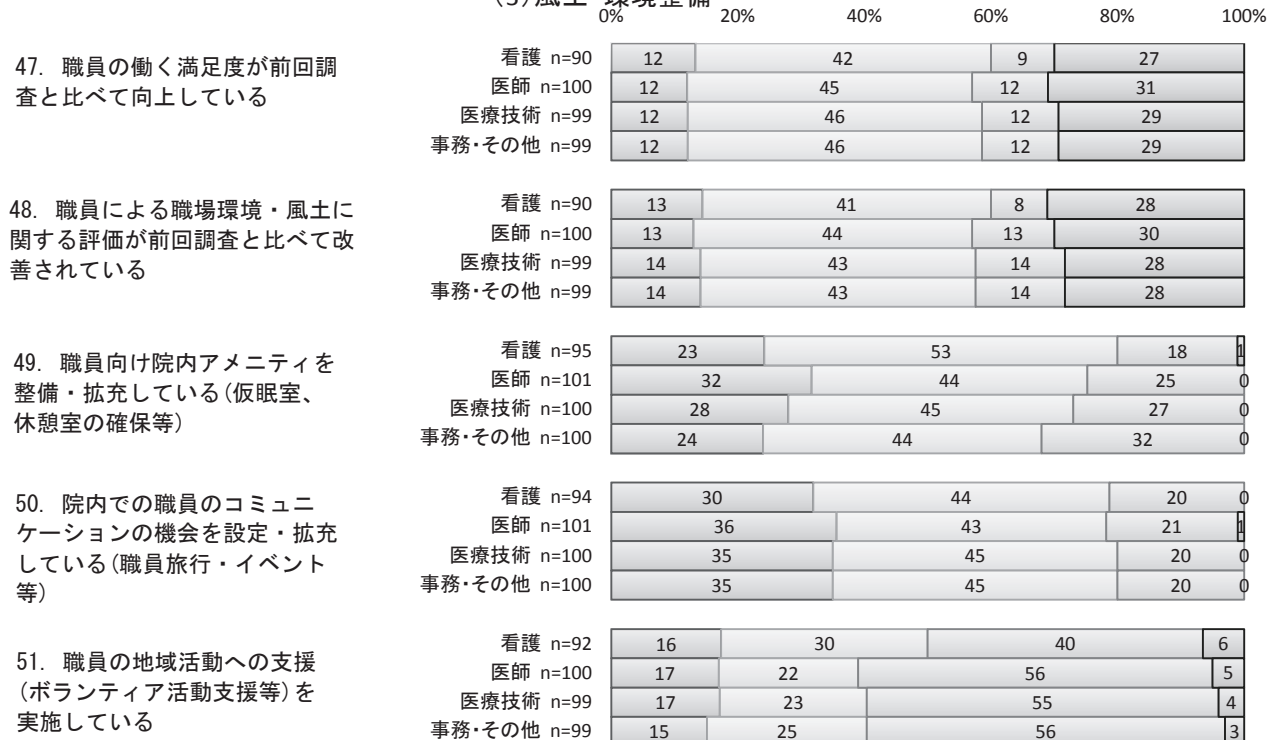


☐十分に当てはまる ☐当てはまるが改善余地あり ☐全く当てはまらない ☐把握していない

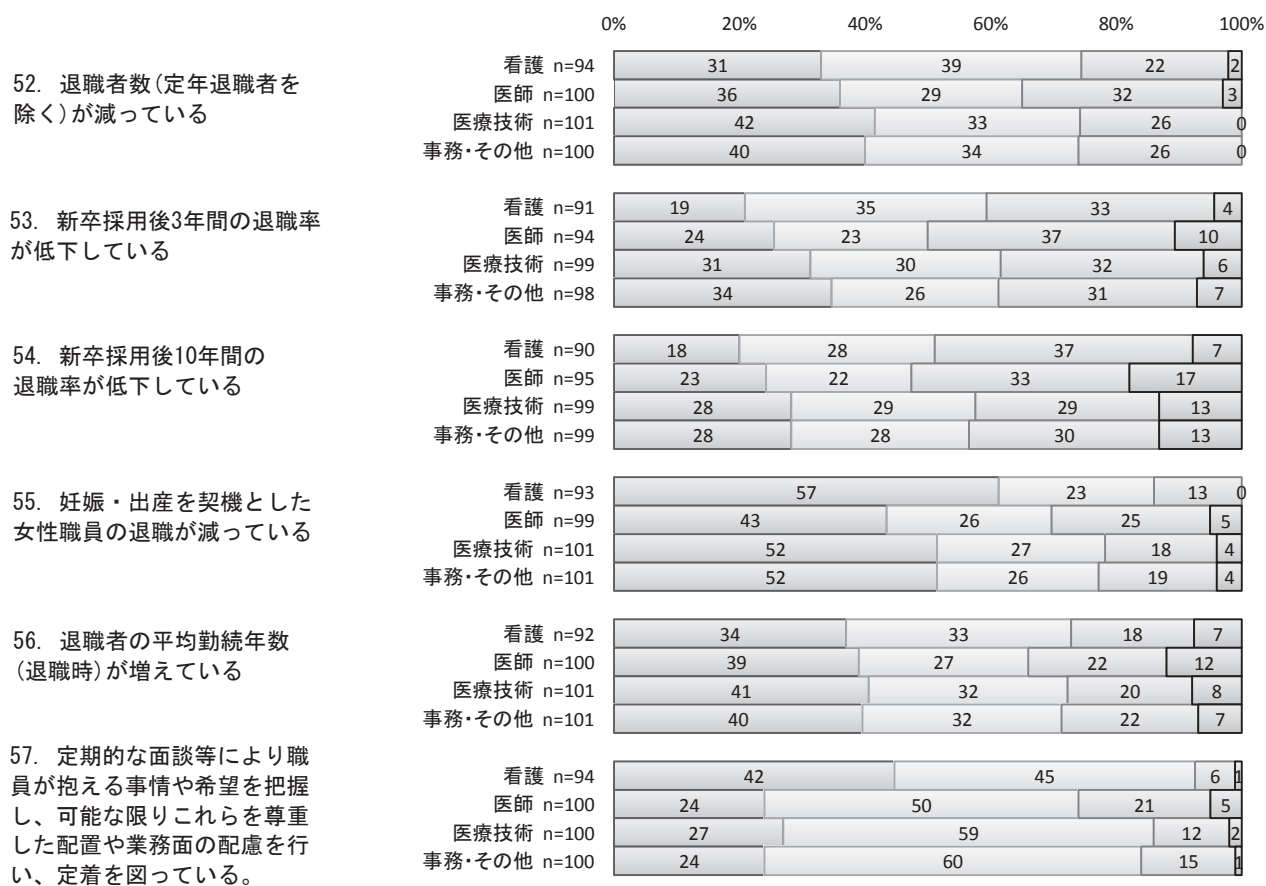
・「職員へのいじめ・ハラスメント対策等の取組状況」に職種の違いはあまりみられない。

Ⅲ.働きやすさ確保のための環境整備

(3)風土・環境整備



(4)人材の定着化

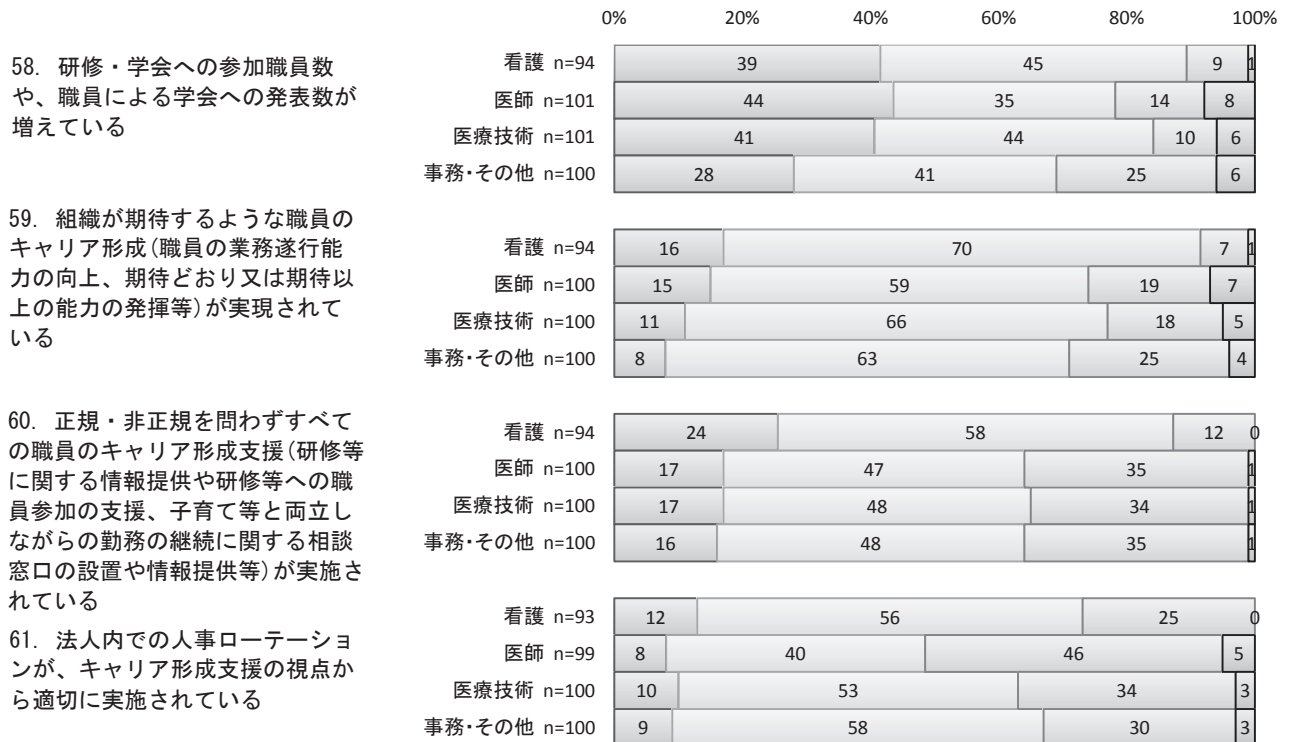


☐ 十分に当てはまる
 ☐ 当てはまるが改善余地あり
 ☐ 全く当てはまらない
 ☐ 把握していない

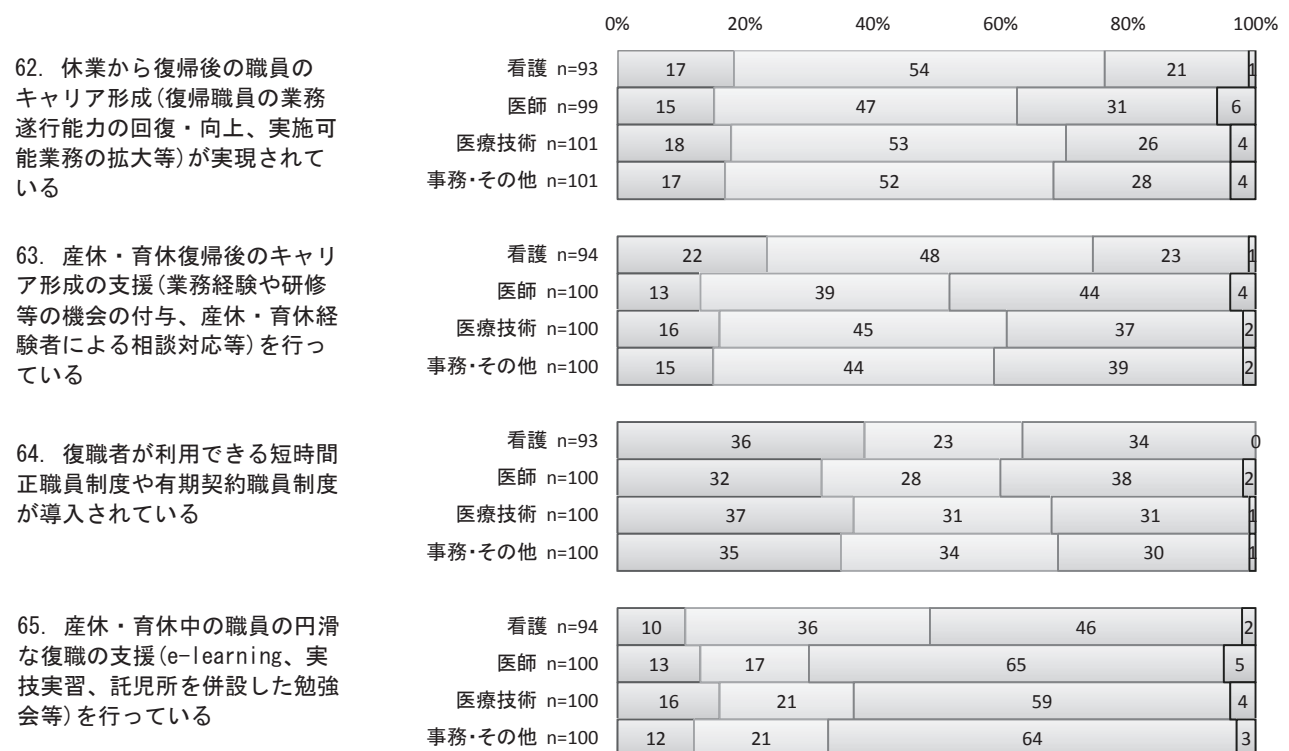
・「退職率の低下」に関して、職種での違いはあまりみられない。
 ・各職種共に、「定期的な面談等を実施し定着を図っている」ことが伺える。

IV.働きがいの向上

(1)キャリア形成支援



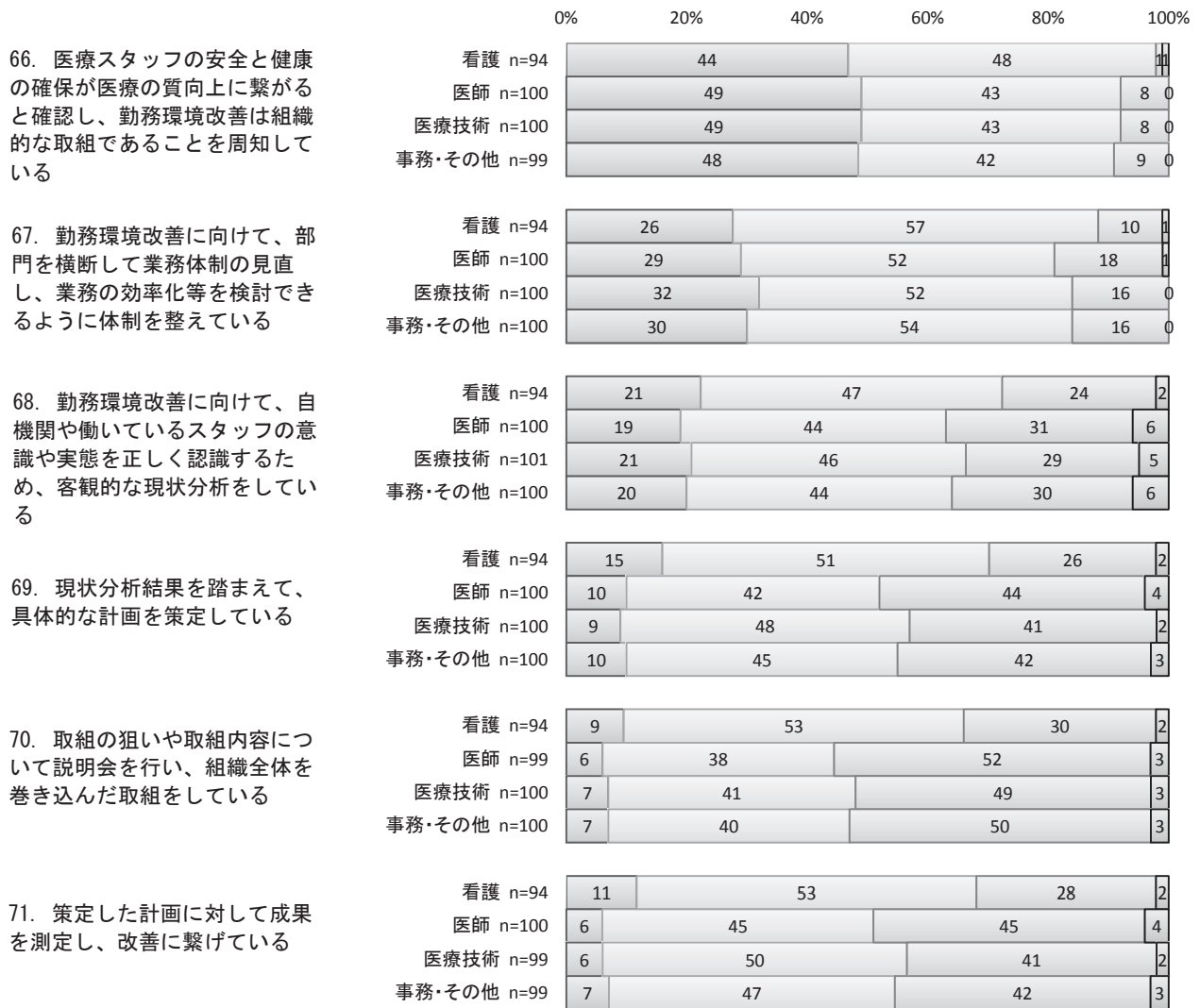
(2)休業後のキャリア形成支援



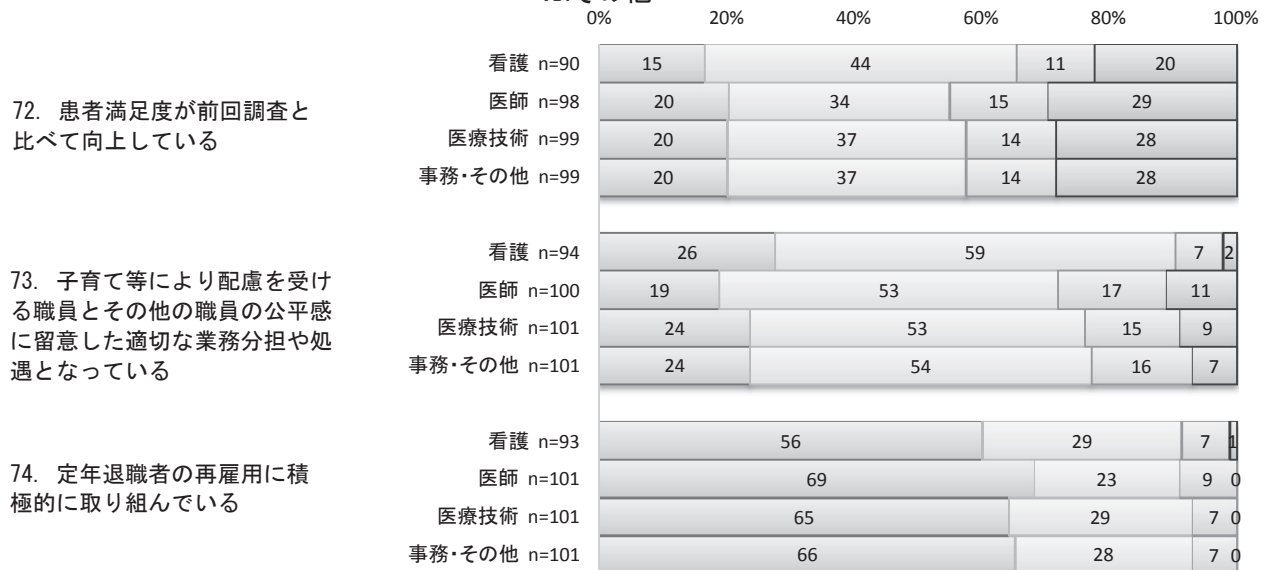
☐ 十分に当てはまる ☐ 当てはまるが改善余地あり ☐ 全く当てはまらない ☐ 把握していない

・「産休・育休中の職員の円滑な復職の支援(e-learning、実技実習、託児所を併設した勉強会等)」は、看護以外の職種では低い実施割合となっている。

V. 勤務環境改善の取組について



VI. その他



☐ 十分に当てはまる
 ☐ 当てはまるが改善余地あり
 ☐ 全く当てはまらない
 ☐ 把握していない

・「勤務環境改善の取組」は、「客観的な現状分析」、「具体的な計画策定」になると、取組割合が全職種において低くなっている。
 ・全職種において「定年退職者の再雇用」に積極的に取り組んでいる。

以上です。